

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	1 年	2	必修
担当教員			
松元 一明			
C (商学部)	S (専門科目)	CS (地域)	101 (基礎・入門科目)

授業のねらい（概要）	「地域創造」とは、経済・社会・文化・歴史等においてひとつのまとまりとしての意味をもつ地域を持続的に発展させ、そこに住む人びとが豊かな生活を享受できる地域社会を築くことである。 本講義では、商学部ディプロマポリシーに基づいて、地域・コミュニティにおける問題を多角的に捉える視野を身につけるとともに、地域・コミュニティにおいて市民が果たす役割について考察し、地域創造（地域の課題解決や発展）のために、地域の現状と課題を分析し、実践的な提案ができる能力を習得することを目的とする。		
授業計画	第1回	オリエンテーション（講義の進め方） 自己紹介、授業計画の説明、履修の注意点 予習（時間）：シラバスをよく読んで、確認したいことをメモしておく。自己紹介で話すことを考えておくこと。（60） 復習（時間）：シラバスや授業計画などの配布資料をよく確認するとともに、課題について学習をおこなう。（60）	
	第2回	地域創造とは 地域が経済・社会・文化・歴史等さまざまな領域からひとつのまとまりとして成立していることを確認し、それらの持続と発展のために、どのような視点と実践が必要であるかを考える。 予習（時間）：前回は示された課題について取り組む。（120） 復習（時間）：講義内容を再確認するとともに、要点の整理をおこなう。（120）	
	第3回	人口減少社会とコミュニティ 少子高齢社会、人口減少社会における地域やコミュニティの変化をとらえるとともに、今後、どのように地域やコミュニティを持続させていくのかを考える。 予習（時間）：前回は示された課題について、資料を用いて対応する。（120） 復習（時間）：講義内容を再確認するとともに、要点の整理をおこなう。（120）	
	第4回	地域・コミュニティをめぐる課題 いくつかの事例をもとに、地域・コミュニティの現状と課題を把握する。 予習（時間）：前回は示された課題について取り組む。（120） 復習（時間）：講義内容を再確認するとともに、要点の整理をおこなう。（120）	
	第5回	地域・コミュニティとステークホルダー 行政や市民活動団体・NPO、地縁組織、地域企業といった地域・コミュニティにおけるステークホルダーとその役割について理解する。 予習（時間）：前回は示された課題について取り組む。（120） 復習（時間）：講義内容を再確認するとともに、要点の整理をおこなう（120）	
	第6回	地域創造の実践 地域・コミュニティの課題解決を図るためのケーススタディをおこなう（まちづくりの事例を映像で学ぶことを考えているが、可能であれば実際に地域で活動する方をゲスト講師で呼び、講義して頂く） 予習（時間）：前回は示された課題について取り組む。（120） 復習（時間）：講義内容を再確認するとともに、要点の整理をおこなう（120）	
	第7回	中間まとめ、ワークショップ 前半での講義の理解度を確認するため、「ワークショップ」を実施する。ワークショップの内容については小レポートとしてまとめる。 予習（時間）：前半の講義を振り返り、理解度を確認する。（120） 復習（時間）：講義内容を再確認するとともに、小レポートを作成する。（180）	
	第8回	私たちの地域を知ろう（西毛地域の現状と課題） 前半の講義で得た知識に基づいて、後半では西毛地域（高崎市・富岡市・下仁田町など）を対象とした実践的な学修を実施する。まずは西毛地域の概要ならびに現状と課題について学ぶ。 予習（時間）：西毛地域の概要がわかる資料を収集し、内容を把握する。（120） 復習（時間）：西毛地域の現状と課題について整理する。（120）	
	第9回	グループワーク「地域創造の実践」（1）テーマの絞り込み グループワークでは、学生数名一組でグループをつくり、それぞれに西毛地域の地域課題を解決する「事業」もしくは「コミュニティビジネス」を考え、提案をおこなう。まずは解決すべき課題や取り組むテーマをグループごとに決定する。 予習（時間）：前回の講義をもとに、自らが取り組みたい課題やテーマについて考え、まとめてくる。（120） 復習（時間）：グループワークのまとめをおこなう。（120）	
	第10回	グループワーク「地域創造の実践」（2）現状分析 さまざまなデータをもとに、西毛地域の内外環境や強み弱みなどをSWOT分析等により導き出す。	

	第11回 予習（時間）：前回に示された課題について取り組む。（120） 復習（時間）：グループワークのまとめをおこなう。（120） グループワーク「地域創造の実践」（3）ニーズの把握と目標の設置 調査やインタビューデータを用いて市民のニーズを把握するとともに、行政が掲げる政策について理解したうえで、目標を定める。 第12回 予習（時間）：前回に示された課題について取り組む。（120） 復習（時間）：グループワークのまとめをおこなう。（120） グループワーク「地域創造の実践」（4）事業案の作成 行政や市民、地域企業を含めたさまざまな資源を活用し、課題を解決する政策案・事業案を考える。 第13回 予習（時間）：政策案・事業案について事前に考えておく。（120） 復習（時間）：グループワークのまとめをおこなう。（120） グループワーク「地域創造の実践」（5）事業案の評価、絞り込み グループで考えた事業案をより緻密なものとするために、事前評価を行い絞り込んでいく。また予算やアクションプランについても考える。 第14回 予習（時間）：前回に示された課題について取り組む。（120） 復習（時間）：グループワークのまとめをおこなう。（120） 事業提案プレゼンテーション グループワークにより策定した「事業」や「コミュニティビジネス」について、グループごとにプレゼンテーションを実施する。プレゼンテーションは高崎市に対して実施することを前提におこなうものとする。 第15回 予習（時間）：グループごとにプレゼンテーションの準備をおこなう。（180） 復習（時間）：プレゼンテーションの振り返りをおこなう。（60） まとめ これまでの講義やグループワークを振り返り、地域・コミュニティを持続していくための視点と実践について総括する。 予習（時間）：後半のグループワークを振り返り、そのプロセスを確認する。（60） 復習（時間）：講義内容の確認を行うとともに、期末レポートに向けての確認と準備をおこなう。（180）
授業を通して身に付けることができる能力（DP）	DP（商学部）の2項目を意識した科目となっている。 2．情報の収集、分析を行い、進んで課題解決に望む姿勢 4．大学の学びを地域に還元し、価値を創造する姿勢 【身に付くスキル】 創造的思考力・地域力
到達目標	まずは地域・コミュニティにおける課題やその背景、コミュニティをめぐるステークホルダーの役割や動向について、基礎的な知識を得ることを目標とする。 また西毛地域を対象としたまちづくりの施策を考えるグループワークを通して地域課題を的確に捉え、ともに、その解決を図るための「事業」もしくは「コミュニティビジネス」を考え、最終的にはグループによるプレゼンテーションが行えることを目標とする。
課題や小テスト等のフィードバックの方法	小レポートやグループワーク等については取りまとめたうえで、解説をおこなう。
履修上の注意	学生による発表・プレゼンテーション、さらにはグループワークなどを取り入れた講義である。必要に応じて、学外での活動（フィールドワーク）や授業時間外の時間帯での活動を実施する場合がある。 またグループワークは、事業案の完成度を高めるため、「ロジカル・シンキング」の講義と連動しておこなう（経営学科のみ）。
成績評価の方法・基準	平常点と講義における発言（40%） グループワークにおける積極性、プレゼンテーションなど（40%） 小レポート（20%） 以上を基準に総合的に評価する
教科書	『世界遺産鉄道 上信電鉄0番線からの旅』 編集：上毛新聞社 出版社：上毛新聞社事業局出版部 発行年：2018年 価格：1000円（税別）
参考書・教材	【参考書】『地元学をはじめよう』 著者名：吉本哲郎 出版社：岩波書店 発行年：2008年 価格：840円（税別） 『コミュニティデザイナー一人ががつながるしくみをつくる』 著者名：山崎 亮 出版社：学芸出版社 発行年：2011年 価格：1800円（税別） 【教材】講義では、パワーポイントの使用とレジュメを配付して説明する。コミュニティや地域活動に関する具体的事例を紹介するため、映像資料（ブルーレイ・DVD）を使用する場合がある。
備考	講義科目／実務家教員による授業
教員との連絡方法	Melly